

【単元名（生活・総合）】 ダイコン大作戦師匠たちと100本育てるゼワツハッハー～師匠たちに感謝の気持ちを伝えよう～  
【教材名（国語）】 「気持ちをこめてきてください」（3年生） 「お礼の気持ちを伝えよう」（4年生）（光村図書）

### 【単元目標（国語）】

- ・ 丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。（知）
- ・ 大竹さんと経験したことなどを思い出し、書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。（思）
- ・ 大竹さんに対して、丁寧な表現になっているか確かめながら手紙を書こうとしている。（主）

#### 【指導目標（3年生学習内容）】

- ・ 丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。（知（1）キ）
- ・ 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして、文や文章を整えることができる（思B（1）エ）
- ・ 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。（知（1）ア）

#### 【指導目標（4年生学習内容）】

- ・ 一緒に大根を育ててくれたことを想起しながら、書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。（思B（1）ア）
- ・ 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。（知（1）ア）
- ・ 丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。

#### 【言語活動（3年学習内容）】

- ・ 収穫祭を案内する手紙を書く

#### 【言語活動（4年学習内容）】

- ・ 感謝の気持ちを込めて、収穫祭を案内する手紙を書く。

#### 【評価規準（3年生学習内容）】

- <知識・技能> 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。（（1）ア）  
丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。（（1）キ）
- <思考・判断・表現> 「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして、文や文章を整えている。（B（1）エ）
- <主体的に学習に取り組む態度> 粘り強く、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整え、学習の見通しをもって収穫祭を案内する手紙を書こうとしている。

#### 【評価規準（4年生学習内容）】

- <知識・技能> 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。（（1）ア）  
丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。（（1）キ）
- <思考・判断・表現> 「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。（B（1）ア）
- <主体的に学習に取り組む態度> 進んで相手や目的を意識して伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって、お礼の手紙を書こうとしている。

### 【単元計画】（全5時間）国語4時間、生活・総合1時間

- 第1時 大きくなってきた大根を見て、大竹さんへの感謝に気づき、手紙を書く見通しを立てる。（生活・総合）
- 第2時 手紙を書く上で大切なことを振り返り、手紙に書く内容を考える。（国語）
- 第3時 タブレットを使って、手紙の構成に沿って下書きを作り、必要な修正を加えて、下書きを完成させることができる。（国語）【本時】
- 第4時 タブレットに書いた下書きを見ながら、清書することができる。（国語）

【本時目標】 相手や目的を意識し、伝えたいことが明確になるように、友達と読み合っ、手紙に書く内容を整理することができる。

## 学習活動

### ◆導入◆【課題の設定】

- 本時のめあて・ながれを確認する。
- ロイロノートのアンケートで自分のめあてを入力する。

### ◆展開1◆【情報の収集】「整理・分析」

- 1 前時までの分かりやすい手紙にするための必要な事項を確認する。
- 2 手紙の枠に沿って下書きしたものを自分でチェックする。
- 3 Aチーム（伝え隊）、Bチーム（見つけ隊）に分かれて友達に手紙を紹介する。紹介したら、相手にシールを貼る。
- 4 AチームとBチームを入れ替える。
- 5 友達の紹介を聞いて、直したいところがあれば修正する。
- 6 作成したものを提出箱に送る。

### ◆終末◆「まとめ・表現」

- ロイロノートのアンケートを用いて、振り返りを入力する。
- 次回の活動の確認をする。

## 指導の手立て 【★評価】

### 【「個別最適な学び」を目指すための手立て】

- 単元目標と自立活動を意識した、個々のめあての設定

### 【「協働的な学び」を目指す手立て】

- 全体で共有することで友達の手紙を見て学ぶ時間を設定
- 早く書き終わった児童は、共有ノート上での他の児童の下書きを見て参考にする。

- どんな時に手紙を書いたり、もらったりしたか。また、その時どんな気持ちになったかを前時までにふりかえり、それらを掲示して、下書きを書く際の手立てになるように準備しておく。  
→「きれいに書いていたらうれしかった。」  
→「手紙をもらったらすごく嬉しかった。ぜひ渡してあげたい。」
- 前時までに「誰に」「なんのために」手紙を書くか明確にする。
- 読み手に対して、感謝の気持ちを書けている児童を抽出し、全体に共有する。
- 入力が困難な児童もいるので、ワークシートを紙でも用意しておき、児童が選べるようにする。
- ヒントカードボックスをロイロノート上に用意しておき、児童が下書きを書く際にいつでも見られるようにしておく。

### 【「個別最適な学び」を目指すための手立て】

- ロイロノートのアンケートでの振り返り

- ★丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。（知（1）キ）
- ★手紙の構成を踏まえ、書く内容の中心を意識しながら、文章を書いている。（思B（1）エ）